



## 心を通わせ、表現する楽しさを

園長 米澤 千秋

庭の木々が紅葉し、子どもたちはジャングルジムや滑り台に登って眺めたり、落ち葉を使った遊びを楽しんだりしています。

今、子どもたちは、今週末の「あおやぎ劇場」に向けて、劇遊びや合奏などに取り組んでいます。先日、青柳小学校の音楽会のリハーサルにご招待頂き、小学生の歌や合奏の表現活動を参観しました。「この歌知ってる!」「大きな声でかっこよかったね」「あの楽器は何かな?」「すずは幼稚園と一緒にだね」などと刺激をもらい、自分たちも「あおやぎ劇場」で、おうちの人に見てもらおうことを楽しみに、張り切って活動に取り組んでいます。

4歳児もも組は、動物やお店屋さんなど、何かになりきった“つもり”の遊びが大好きです。劇遊びでも、大好きなお話のストーリーの中で、お気に入りの言葉を友達と一緒に言ったり、「今日は何して遊ぶ?」と相談し、普段親しんでいる遊びを役になりきりながら楽しんだりしています。

5歳児ゆり組は、友達と一緒に劇に必要な物を工夫して作ったり、言葉を考えたりしてきました。登場人物はその場面ではどのような心情か、どのような動きや言葉、演出にすると、役や場面に合った表現になるかなどについて、教師が子どもたち一人ひとりの考えを引き出しながら、実現できるように援助しています。



発達の違いはありますが、どちらの学年も大切にしていることは、子どもたちが、先生や友達と心を通わせる中で、豊かな言葉の表現を身に付け、表現する楽しさや喜びが味わえるようにすることです。

幼児期には、その子なりの表現を受け止め、表現する意欲を十分に発揮させることが大切です。自分なりに表現したことを受け止めてもらう心地よさや嬉しさを味わった経験が、小学校以降の「自己の考えを広げ深める対話的な学び」の基礎となります。

このように「あおやぎ劇場」では、子どもたちと先生が、日々心を通わせながら一緒に作りあげてきた表現活動の一端をご覧ください。当日はぜひ、その過程に思いを馳せながら一緒に楽しみ、子どもたちの成長を感じていただきたいと思います。

先日は、保育参観にご参加いただき、ありがとうございました。お寄せいただいた感想の一部をご紹介します。

- ・お友達や先生と過ごす事を楽しんでいる様子が分かり嬉しくなりました。
- ・外遊びは三輪車やかけっこ等しっかり体を動かして楽しそうでした。
- ・自ら前に出て発表していて、繊細で人前で話すのが苦手だと思っていたため、とても驚きました。
- ・イベント時以外での活動を見られ、いい機会でした。先生の指示を聞き、友達と協力して動く様子に成長を感じました。
- ・「なわとび跳べるよ」と聞いていましたが、実際に見たのは初めてだったので、たくさん跳べるようになってびっくりしました。
- ・しりとりやクイズなどで頭の回転を促しながら言葉を覚えられる遊びも多く、歌も外国の挨拶をテーマにしている、遊びの中から学びが得られる小学校に行く前の良い時間になっていると感じました。
- ・先生方が先々の意図を持って保育をしていることがよくわかりました。

お子さんの成長や、今後大切にしていきたいことなどを保護者の皆様と共有する機会となり、嬉しく思います。お寄せいただいたご意見やご感想を今後の保育に生かしてまいります。